

三
中
部
大
平
洋
方
面
部
隊

--15--

0380

大宮島憲兵隊（誉 部隊）

昭和一九	年月日	略 歴
三	三	大宮島憲兵隊編成下令
三	一八	編成完結（東京）
三	三	東京港出帆
四	一一	サイパン島寄港
四	一二	サイパン島出港
四	一三	大宮島に上陸
七	二一	守備部隊の指揮下に入り軍防諜、現島民の安全保護指導監督に当る。
八	一五	米軍上陸開始以後は、主として邦人の戦禍退避指導に任ず。
九	二	停 戦
九	一一	終 戦
二一	一〇 下旬	米軍の武装解除を受く
二一	一〇 下旬	内地帰還のためグワム島出帆
二〇	一〇 二九	浦賀港上陸
二〇	一〇 二九	復員完結

歩兵第一四連隊第三大隊（備第一七五三〇部隊）

年 月 日	略 歴
昭和一九二六年七月一六	歩兵第一四連隊第三大隊編成完結（大阪） 爾後満州国東安省鶏寧県滴道に駐屯
一九二六年二月二六	南方派遣のため滴道出発
三月三	釜山港出帆
三月八	横浜港着
三月九	同港出帆
三月一九	サイパン島上陸 爾後同島の警備
五下旬	独立歩兵第三一六大隊と改編
六一五	米軍サイパン島上陸
七一八	サイパン島において部隊玉砕
八一五	停戦
九二二	終戦 （注）戦闘間に於ける戦傷者及び少数の生存者は米軍の収容所に入り 終戦後各個に復員する。

工兵第二五連隊第三中隊（備第一七五三四部隊）

年月日	略歴
昭和一九二〇年七月一日	工兵第二五連隊第三中隊編成完結（高槻）
一九二〇年七月二日	爾後滿州国東安省鶏寧県平陽に駐屯
一九二〇年七月三日	南方派遣のため平陽出發
一九二〇年七月三日	釜山港出帆
一九二〇年七月三日	横浜港着
一九二〇年七月三日	同港出帆
一九二〇年七月三日	サイパン島上陸
一九二〇年七月三日	爾後同島の警備
一九二〇年七月五日	独立混成第四七旅団工兵隊と改編
一九二〇年七月六日	米軍サイパン島に上陸
一九二〇年七月七日	サイパン島において玉砕
一九二〇年七月八日	停戦
一九二〇年七月九日	終戦

（注）戦闘間に於ける戦傷者及び少数の生存者は米軍の収容所に入り
終戦後各個に復員する。

歩兵第八九連隊第三大隊（備第一七五三一部隊）

年 月 日	略 歴
昭和一六 七 一六	歩兵第八九連隊第三大隊編成完結（熊本）
一九 二 二七	爾後滿洲国東安省東安に駐屯
三 三 三	南方派遣のため東安市出發
三 三 八	釜山港出帆
三 三 二	横浜港着
三 三 一	同港出帆
三 一 九	サイパン島上陸
五 下 旬	爾後同島の警備
六 一 五	独立歩兵第三一七大隊と改編
七 一 八	米軍サイパン島に上陸
八 一 五	サイパン島において玉砕
二 〇	停戦
九 二	終戦

隊長 大尉 佐々木 己代太
 （注）戦闘間における戦傷者及び少数の生存者は米軍の収容所に入り
 終戦後各個に復員する。

年 月 日	略 歴
昭和二六 七 一六	工兵第一一連隊第三中隊編成完結（普通寺）
一九 二 二六	爾後滿洲国東安省虎林駐屯 南方派遣のため虎林出發
三 三 三	釜山港出帆
三 一 〇	東京港着
三 一 二	同港出帆
三 二 〇	サイパン島經由グアム島上陸
五 下 旬	爾後同島の警備
七 二 一	独立混成第四八旅団工兵隊と改編
九 三 〇	米軍グアム島に上陸
八 一 五	グアム島に於て部隊玉砕
二 〇	停戦
九 二	終戦

（注）戦斗間に於ける戦傷者及び少数の生存者は米軍の収容所に入り
終戦後各個に復員する。

山砲兵第一連隊第三大隊（備第一七五四〇部隊）

年	月	日	略	歴
昭和	一六	七	一六	山砲兵第一連隊第三大隊編成完結（善通寺）
一九	二	二五	二五	爾後滿洲国東安省虎林駐屯 南方派遣のため虎林出發
	三	三	三	釜山港出帆
	三	八	八	横浜港着
	三	一二	一二	東京港出帆
	三	一九	一九	サイパン島着
	三	二〇	二〇	同島出帆
	三	二〇	二〇	グアム島上陸
	五	下旬	下旬	爾後同島の警備
	七	二一	二一	独立混成第四八旅団砲兵隊と改編
	九	三〇	三〇	米軍同島に上陸
二〇	八	一五	一五	グアム島において部隊玉砕 停戦

昭和二〇 九 二 終 戦

隊 長 少 佐 加 藤 三 夫

(注) 戦闘間に於ける戦傷者及び少数の生存者は米軍の収容所に入り
終戦後各個に復員する。

歩兵第四九連隊第三大隊（備第一七五八四部隊）

年 月 日	略 歴
昭和一六 七 一六	歩兵第四九連隊第三大隊編成完結（甲府） 爾後滿洲国北安省北安駐屯
一九 二 二五	南方派遣のため北安出発
三 三 三	釜山港出帆
三 一 〇	東京港着
三 一 二	同港出帆
三 二 〇	サイパン島經由グアム島上陸
七 二 一	米軍同島に上陸
九 三 〇	グアム島に於て部隊玉砕
八 一 五	停戦
二 〇 九 二	終戦

隊 長 少佐 竹 内 六三郎
 （注）戦闘間に於ける戦傷者及び少数の生存者は米軍の収容所に入り
 終戦後各個に復員する。

第二九師団野戦病院（雷第三二〇五部隊）

年 月 日	略 歴
昭和一九二〇	第二九師団野戦病院編成完結（名古屋）
二二〇	爾後滿洲国奉天省遼陽に移駐
二二四	南方派遣のため遼陽出發
二二五	釜山港出帆
二二六	宇品港着
三二四	同港出帆
七二一	グアム島上陸
九三〇	爾後同島の警備並に野戦病院開設
八一五	米軍同島に上陸
九二二	部隊主力グアム島に於て玉砕一部テニアン島に於て玉砕
二〇	停戦
	終戦
	隊長 軍医少佐 森 本 和

（注）戦闘間に於ける戦傷者及び少数の生存者は米軍の收容所に入り
終戦後各個に復員する。

独立自動車第二七八中隊（備第七一〇五部隊）

年	月	日	略	歴
昭和	一六	九	一六	独立自動車第二七八中隊編成完結（広島）
	一九	二	二九	爾後満洲国吉林省新京に駐屯
		三	三	新京出発
		三	三	釜山港出発
		三	五	横浜港着
		三	八	同港出帆
		三	二二	サイパン島上陸
		六	一六	爾後同島の警備
		七	一八	米軍サイパン島に上陸
		八	一五	サイパン島に於て部隊玉砕
		九	二	停戦
		二〇		終戦

（注）戦闘間における戦傷者及び少数の生存者は米軍の収容所に入り
終戦後各個に復員する。

隊長 中尉 有馬昇三